

今月の主な内容

- 雪洞火ぼたる祭盛大に開催…… 2～3
- 21世紀戦略会議が町に提案…… 4～5
- 学びの里大学14年度活動報告… 6～7
- 世界にはばたけ！森山隆史さん…… 8
- 総合学習の成果を発表…… 10～11
- 保育園だより…… 12

ほか



雪洞火ぼたる祭が盛大に開催！

例年にない好天に恵まれた2月8日（土）、町内いたるところから、ローソクのほのかな灯りが見え始めてきたのを合図に、5回目となる「雪洞火ぼたる祭」が開催されました。メイン会場である雪洞火ぼたるむらには、たくさんの観客が集まり、火ぼたるの幻想的な世界に酔いしれた1日となりました。

かわぐち歴史探訪 ⑫ 爪型紋土器が出土



▲写真は遺蹟調査のようす

昨年秋、西倉遺跡の第三次発掘調査が行われた。これは道路の拡幅を要するため、県の委託を受けて町が実施したものである。

西倉遺跡は縄文時代草創期の遺跡として県内に知られた遺跡で川口町文化財として指定を受けた遺跡である。

この遺跡の特色は、縄文時代のもっとも古い草創期の遺跡であること、肉薄の爪型紋土器が出土することである。

縄文時代は、草創期、早期、前期、中期、後期、晩期の6つに区分されており、西倉は土器をもった最初の文化である草創期の遺跡である。この遺跡は標高80メートルで、信濃川河床から20メートルの段丘上にあり、かつては信濃川から数メートルしかなかったと

考えられる。従って、1万年の間に20メートルも河床が下がったものである。

第二次調査でも確認されている「爪型紋土器」は今回調査でも出土しており、土器が発明された直後の土器だと考えられている。爪の模様は、人間の爪が付けられていて縄目はなく縄文土器とは言っても最初から縄目はなかった。すなわち押し型紋とか、爪型紋から次第に縄目をもった縄文土器に発展したものであった。

西倉遺跡では数十点の爪型土器が出土しているが、すべてが草創期のものではなく、爪型紋にも多種多様な発展形が確認されている。

あとがき

▼2月の一大イベント「雪洞火ぼたる祭」が盛大のうちに無事終了しました。今回は例年になく好天で多くの人で賑わったように思います。私も事務局として、朝から雪灯り廻廊の制作に携わり、目まぐるしい1日を過ごしましたが、サンローラ裏手から町内一面にともされた雪灯りを見たら、疲れが癒されたような感覚を覚えました。皆さんはご覧になりましたか？▼さて、いよいよ3月に入りました。先日、木沢へ取材に出かけたら、ふきのとうの天ぷらをご馳走になりました。陽射しの強い斜面には、もう出始めているとのこと。春はもうそこまで来ているようにです。

9日昼の部 「雪上フェスタ」 大人も子どもも元気いっぱい



▲越後三山スノースライダー



▲家族雪上チャレンジゲーム



▲スノーモービルラフティング

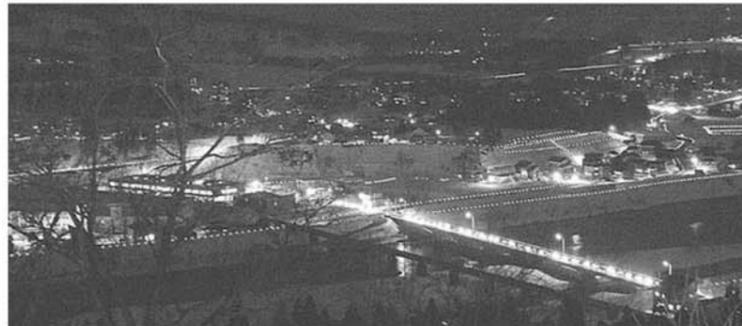


町内各地の雪灯り

みんなで作った雪灯りは個性的な力作ぞろい！



▲越後川口サービスエリア



▲サンローラ裏から見た雪灯り(相川1 広井伸昭さん撮影)

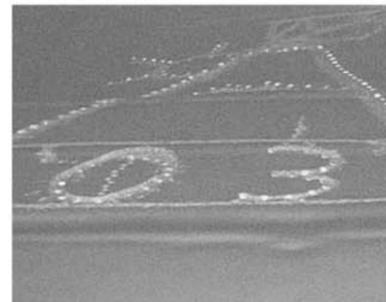
訪れた方からメッセージをいただきました

遠藤あおいさん(東京都)

お昼に汗を流してつくったかまくらひとつひとつに火を灯していく作業は、このおまつりに命を吹き込む、何か大切な儀式のようでした。夜、お店や各地区のかまくらをひとつひとつ訪れたときは、おいしい料理やみなさんの笑顔が少しづつおすそわけしてもらったみたいでした。展望台から見た魚野川をふちどって続いていく雪洞の灯りひとつひとつがまちのみなさんの笑顔に見えました。



▲相川ではドラえもんが出現



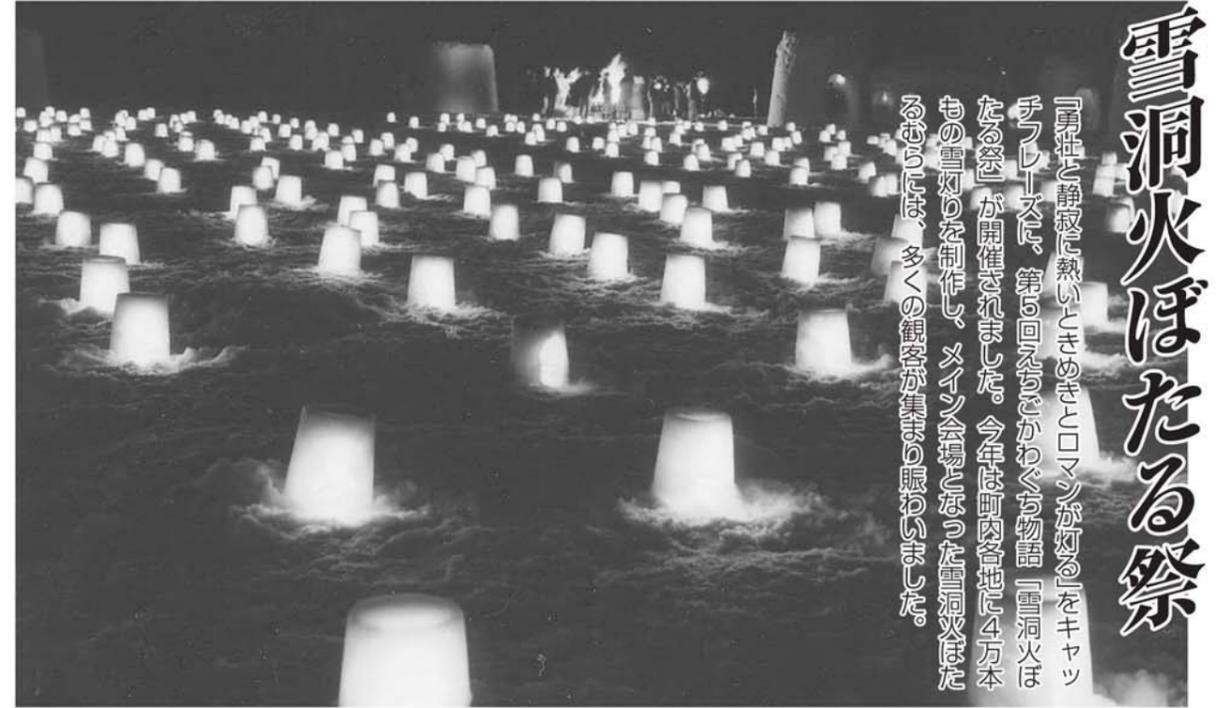
▲荒谷の斜面に富士山の絵

参加いただいた皆さん、ありがとうございました！

多くの町民の皆さんから参加いただき、「雪洞火ぼたる祭」は大成功のうちに無事終了することができました。皆さん一人一人の手によって作られた雪灯りが町中をあたたかな光で包み込み、町民が一体となった祭りを創りあげることができたと思います。本当にありがとうございました。

第5回えちごかわぐち物語 雪洞火ぼたる祭

「勇壮と静寂に熱いエピソードをこめ、ロマンが灯る」をキャッチフレーズに、第5回えちごかわぐち物語「雪洞火ぼたる祭」が開催されました。今年は町内各地に4万本もの雪灯りを制作し、メイン会場となった雪洞火ぼたる祭では、多くの観客が集まり賑わいました。



今年のタイムツ競争は武道窪・貝之沢地区が初優勝



8日夜の部

幻想と勇壮のハーモニー「雪洞火ぼたるむら」



誇りとうるおいのあるまちを実現するために 21世紀のまちづくり戦略会議から町づくりの提案

21世紀のまちづくり戦略会議では、3年間に渡り、各専門部会が、それぞれのテーマに基づき活動を進めてきました。その平成14年分の成果として、昨年12月に活動内容と提案事項が戦略会議に報告され、審議した結果、次の3項目について町へ提案されました。



各専門部長から出された提案を審議しました

①川口町をイメージした音楽の制作について

現在、町には川口小唄や川口音頭といった唄はあるが、共に踊りを主としたものとなっています。そこで、川口町の良さ（自然、季節、桜、ブナ、ホタル、川、水雪など）を町外にPRでき、住民が自分のふるさとに愛着を持ち、みんなが気軽に聞いたり口ずさめ、特に若者に受け入れられるような、町をイメージした音楽（歌にはこだわらない）の制作を提案するものです。



ふるさとの顔づくり部会
大淵 昇 部会長

②若者の視点で「まちづくり」を考える機会や「イベント」等を企画できる仕組みの創出

人づくり部会が重要だと考えたのは、町や地域の更なる活性化のリーダーとなる人材の育成です。特にこれからの時代を担う世代である若者が、魅力あると思えるようなまちづくりは、若者がアクションを起こすことだと思います。まず、若者の視点でまちづくりを考える機会や祭・イベントを若者自らが企画・実践できる仕組みの創出、若者自らが行動を起こし、若者が主役になるような機会の創出を提案するものです。



人づくり部会
佐藤 晃 部会長

③「かわぐちねぶた流し」の創設

3年間「全町民一体となったまつりを検討、創設する」をテーマに、町の歴史等についての勉強会や、他町村のまつりを視察してきました。その結果、田んぼの畦で水浴びをしていた風習（「ねぶつてえ」を流す）をヒントに、「川の町」川口をアピールする要素として、「川」、「水」、「合流」をキーワードとした祭、「かわぐち ねぶた流し」の創設を提案するものです。



えちごかわぐち物語創造部会
横田 守 部会長

平成14年 各専門部会活動報告

地域づくり部会

(関 照栄 部会長・部員28名)

地域づくり部会では、一昨年に町へ提案して実現された支援制度「集落夢づくり事業」が確立された事を受け、部会員が中心となって地域づくりの実践を推進してきました。定期的に行われた部会では、各集落の取り組みなどの情報交換を中心に行い、併せて委員の研修活動を計画。また、昨年12月には地域づくりへの「弾み」や「きっかけ」となるような場としての「地域づくり交流会」を企画運営し、他の地域づくり団体と交流を広げることができました。



中山「夢づくりの会」



「わくわく和南美」ホームページ

ふるさとの顔づくり部会

(大淵 昇 部会長・部会員10名)



各地域の宝ものマップ

川口町の歴史、景観、特性、魅力などさまざまな分野を紹介する各地域の「宝ものマップ」づくりを行い、小・中学校、図書館、駅の施設などで展示、活用してもらうように計画しました。

町の歌（唄）、踊りについては、現在あるものを再認識したうえで、町民に親しまれ、対外的に町をPRできるような歌について検討し、また、現在制定されている町の木・花（桜、芝さくら）の再検討を行うとともに、普及浸透させるための方策を検討してきました。

人づくり部会

(佐藤 晃 部会長・部員13名)

平成13年6月に実施した「若者の意識アンケート調査」の調査・分析・検討を行い、若者がいつまでも住み続けたいと思える町のイメージと町民参加型まちづくりの仕組みを探ってきました。

また、アンケートだけにとらわれないよう、3月に新潟市で行われた新・新潟価値づくりフォーラムへの参加や、インターネットで他市町村の人づくり活動、青年活動を研究しながら提案事項の検討を行ってきました。



ワークショップの勉強会

えちごかわぐち物語創造部会

(横田 守 部会長・部員13名)



かつて町で行われた「引き船」

「全町民一体となったまつりを検討、創設する」をテーマに、これまで町の歴史等についての学習や他町村のまつりを視察しながら部会を重ねてきました。その結果、「水かけ」「丸太ひき」の2つを素材として取上げ、新しいまつりのイメージを組立ててきました。

平成14年度 「かわぐち学びの里大学」が終了

楽しく学び

ました!私たちの「生涯学習」

今年で4年目を迎えた「かわぐち学びの里大学」が14年度すべての日程を終了しました。この事業は、30人の皆さんから構成される生涯学習推進協議会と役場スタッフが、いろいろな意見や要望を出し合い、計画・実施されたものです。今月号では、14年度「かわぐち学びの里大学」の主な活動を報告します。

ふるさと川口塾

毎年川口町にちなんだテーマで学習するこの講座は今年度「米」について学びました。

全5回の講座で、味噌づくりや、米菓づくりなどの体験や、酒の製造工程や日本の米づくりの現状を学びました。

中でも県内最大規模の朝日酒造の工場見学では、大規模施設での厳しい品質管理や米から日本酒ができる工程を学びました。



長寿塾



高齢者を対象にした、仲間づくりや現代的課題の学習などを行う講座です。

健康づくりのための体操や、県消費生活センターから講師を招き賢い消費者になるための知識など今年もさまざまなことを学習しました。

ボランティア養成講座

交流体験館「杜のかたらい」周辺を花いっぱいにならせようと花壇作りにも今年も取り組みました。

4月にボランティア参加者を募集し、花の選定から植付け管理に至るまで、できる限り自分たちの手で取り組んできました。

1年を通じて色彩豊かな花で整備された花壇は、交流体験館を訪れた人たちの目を和ませてくれました。

参加者の声

ボランティアの仲間と「杜のかたらい」の花壇を花でいっぱいにする活動をしていきます。

仕事は草とり等、暑い最中の作業は大変ですが、回が進むごとに参加者の皆さんの気持ち一つ一つつながり、和気あいあいと楽しく毎回の汗を流しています。

(八郎場 小林由美子)

家庭教育学級 アットホームセミナー

この講座では、子どものしつけや教育に関するさまざまな問題を学習してきました。

小学校長や養護教諭、県内の有名講師を招いて、学校週5日制や性教育等、現代的課題を学びました。

参加者の声

お誘いがあり、生涯学習事業のアットホームセミナーへ数回出席させていただきました。一貫していた主題は「親」だったと思います。それに合せての講師も良かったと思いますし、参加者も毎回多数であり盛り上がりがありました。次年度への期待としては、「まちづくり」で行うように、トータルプロセスデザイン的手法を取り入れてプログラムを組んでいただければと願っています。

(荒屋 小西明彦)

福祉のまちづくりセミナー

子どもからお年寄りまで全13グループに分かれて、地域みんなの花を植えることによって、地域の美化のみならず、地域のコミュニケーションが生まれ、参加者は楽しみながら活動しています。



参加者の声

新敷では、5軒くらいのグループで小西屋さんの道沿いに30本のマリーゴールドを植えました。草とりをしては、お茶飲みをして楽しんでやっています。通る人から「きれいですね」と言われると嬉しいですね。

(新敷TANOSHI, S一同)

パソコン教室



昨年に引き続き、国のIT(情報通信技術)施策に基づき、今年も14回の教室を開催しました。

パソコン初心者向けに「パソコン入門塾」を始め、昨年初心者教室を受講した方向けの「パソコン達人塾」を今年は開設し、「ワード」「エクセル」「ホームページ」などの人気のあるジャンルに、定員を上回るほどの多くの方から申し込みをいただきました。

絵画教室

美術教員OBの「グループ響」のメンバーから水彩画や油彩画の手法を学ぶこの教室は、今年で2年目を迎えました。



かわぐちこっこクラブ ウルトラかわぐちこっこクラブ

サンローラ川口から見える雄大な魚野川や信濃川、越後三山の景色を見事な筆さばきで描いていました。

小・中学生を対象とした自然体験や生活体験を中心とした事業で、延べ30回開催しました。

登山や川遊びなど大自然の中で元気いっぱい活動したり、中華料理やお菓子作りなど、延べ500人の子どもたちが参加し、学校週5日制となった今年度もたくさんの子どもたちが学びました。

写真教室

今年度より始まったこの教室は、町のフォトコンテスト出品に向け学習しました。カメラの構造や撮影の手法などを学び、実際に牛ヶ首地区で撮影を行いました。



子どもからお年寄りまで多くの参加者が学んだ今年度の「かわぐち学びの里大学」。「いつでもどこでも、だれでも」学べる体制を整えることにより、皆さんが生きがいを持ち、いきいきと暮らせる社会となると思います。

町では来年度も「かわぐち学びの里大学」事業を継続していきますので、参加したことがない皆さんも申し込まれてはいかがでしょうか?事業内容は4月の広報かわぐちと一緒にちらしを配布します。

世界にはばたけ!

森山隆史さん



森山隆史さん(貝之沢)は小千谷高校の3年生。スキートの複合(ジャンプと距離)で国体をはじめとした全国大会で数多く入賞を飾ってきました。今月号では、森山選手の高校時代の戦績を紹介するほか、将来の展望について語っていただきました。(森山さんのインタビューは1月24日現在のもので)

「複合」を始めたきっかけは…

「僕が通っていた泉水小では学校全体でクロスカントリイに取り組んでいました。当時は自発的にというより、みんなやっているから…という感じだったと思います。ジャンプを始めたのは中学1年の秋に顧問の先生から勧められました。最初にジャンプ台に立った時には泣きそうになったのを今でも憶えています。でも今考えると、中学時代に顧問の先生がジャンプを勧めてくれなかったら、今の自分はいないのだろうなと思います。」

全国大会での活躍

「初めて全国大会に出場したのは、中学2年の時。順位は20、30



【写真】 県スキー選手権(1月22日 六日町)で森山選手(手前)は少年の部で連覇を飾った。(新潟日報社提供 1月23日朝刊)

位くらいだったと思います。高校は小千谷高校に進学して、1年生からインターハイなどの全国大会に出場しました。転機となったのは、1年のジュニアオリンピックで8位に入賞して全日本ジュニア指定強化選手に選ばれたことです。それから1月1週間の程度、全日本ジュニアの合宿に招集されて高いレベルで練習することができ、2年生の時の国体では優勝することができました。」

高校時代での主な戦績

- 【1年生】
 - 全国高校総体(インターハイ) 複合16位 ジャンプ23位
 - 国民体育大会(国体) 複合18位 ジャンプ20位
 - 高校選抜 複合17位 ジャンプ17位
 - ジュニアオリンピック 複合8位 ジャンプ25位
- 【2年生】
 - 全国高校総体(インターハイ) 複合3位 ジャンプ9位
 - 国民体育大会(国体) 複合優勝 ジャンプ9位
 - 高校選抜 複合優勝 ジャンプ6位
 - ジュニアオリンピック 複合5位 ジャンプ5位

世界の舞台へ…将来の展望
「大学は日本大学(経済学部)に進学する予定です。日本大学はインターカレ(大学選手権)で5連覇している強豪なので、そこでがんばりたいと思っています。成績が認められれば、ワールドカップBクラスへ参戦できる可能性もあるし、またそこでポイントをあげればワールドカップへの道もある。更にならばオリンピックへも…。決して簡単な道ではありません。決してチャレンジしたいと思っています。」

顧問の先生から…

「森山君は集中力と理論を応用できる力を持っていると思います。校内行事でもいろんな意味で中心にいますし、元気がよくて明るいことが武器だと思います。現在まで順調に成績を伸ばしてきましたが、上を目指していけば、いつか必ず高くて険しい壁にぶつからざるを得ないと思います。それを乗り越える強い気持ちを持つてがんばってほしい。」

(2月17日小千谷高校にて 森山選手担当顧問の上村先生が長期遠征帯同のため、稲田先生からエールをいただきました。)

国民健康保険制度が改正されます

退職被保険者の自己負担が変わります

4月1日から健康保険での自己負担の割合が3割に統一されることに伴って、退職者医療制度での自己負担の割合も本人、被扶養者ともに3割に統一されます。

外来の薬剤にかかる一部負担がなくなります

外来で診療を受けて、薬をもらったときは、薬の種類に応じて一定の額を別途負担していましたが、4月1日から外来の薬剤にかかる一部負担がなくなります。



ゆめありくんの 国民年金講座

「もしも」思いがけない事故や病気・ケガで障害が残り、今までどおり働けなくなったら…。国民年金は老後の生活保障だけでなく、そんな「もしも」のときに、本人と家族の生活を守るための「障害基礎年金」があります。

障害基礎年金って？

障害基礎年金は次の要件を満たしている場合に支給されます。

- ①初診日において国民年金に加入している人、または国民年金に加入したことのある60歳から64歳までの人で日本国内に住所のある人に病気やケガで障害が残った。
- ②障害認定日(注)に障害基礎年金の等級の1・2級に該当している。

障害認定日とは…初診日から1年6か月を経過した日又はその期間内に症状が固定した日

③初診日の属する月の前々月までに保険料を納めた期間が国民年金に加入しなければならぬ期間の3分の2以上あること。なお、平成18年4月1日前であれば初診日の前々月までの1年間に未納がないこと。

障害が後で重くなったとき

障害認定日に1・2級の障害の状態になかった人が、65歳になるまでの間に障害の状態が重くなり1・2級に該当したときは、65歳前に請求すれば請求月の翌月から障害基礎年金が支給されます。

20歳前の病気やけがによる障害基礎年金

20歳前で、まだ国民年金に加入していないときに初診日がある時でも、20歳になった時に1・2級の障害の状態があれば、障害基礎年金が支給されます。
※本人に一定の額を超える所得がある時は、支給停止されることがあります。

障害基礎年金の額

- 1級…100万5300円
- 2級…80万4200円

退職被保険者の自己負担が4月から3割に

	3月31日まで	4月1日から
退職被保険者(本人)	外来 2割	外来 3割
	入院 2割	入院 3割
被扶養者	外来 3割 (3歳未満は2割)	外来 3割 (3歳未満は2割)
	入院 2割	入院 3割 (3歳未満は2割)
本人、被扶養者ともに70歳になったら	1割 (一定以上所得者は2割)	1割 (一定以上所得者は2割)

地域に密着、総合学習



「ここではどんな工事をしているんだろう？」

【1年生の活動】
7月に、川口町の事業所や会社、57箇所を職場訪問しました。将来、自分のなりたい職業を考え、自分たちで訪問先を選んで連絡を取りました。実際の訪問はもちろん、依頼状や礼状送付まで自分たちで行いました。町内の事業所以外でも保育園、役場、福祉施設、肉用牛生産組合といった所に訪問しました。左写真の現場では「根気のいる仕事で疲れたけど、いい経験になった」という生徒の感想がありました。

進路・生き方活動

各学年で進路や将来の生き方に関わる学習を行います。

この他に、伝統の「立志式」を、内容を充実し実施しました。

職場体験では、「簡単な作業だと思っていたが本当はとても難しいことだとわかった。これからは決して楽な作業だとは思わない」（農業体験）「包装の仕事は丁寧に扱わなければならないので、すごく緊張しました」（お店での商品包装）と実際の仕事の厳しさを体感したようです。1年生の体験と合わせて職業に対する認識が深まりました。



越後川口駅での職場体験

【2年生の活動】

1年生での活動を生かしながら、活動範囲を小千谷・長岡方面まで拡大し、事業所で仕事を体験する活動を行いました。1年生の時と違い活動範囲が広がった分だけ、事前の調査活動が大変でした。職場体験では、「簡単な作業だと思っていたが本当はとても難しいことだとわかった。これからは決して楽な作業だとは思わない」（農業体験）「包装の仕事は丁寧に扱わなければならないので、すごく緊張しました」（お店での商品包装）と実際の仕事の厳しさを体感したようです。1年生の体験と合わせて職業に対する認識が深まりました。



「高校調べ」発表会のようす

【3年生の活動】

6月に川口町内の道路の清掃活動を行いました。保護者や地域の方々からも参加していただき、町内をきれいにすることができました。この他にも合唱コンクール、学習発表会、リサイクルデーなどの活動を行いました。これらの活動には、昨年にも増して地域の多数の方々から参加や協力をいただきました。生徒はさまざまな活動を通して、地域との繋がりがや成果を発表する力が養われてきています。



新生会（生徒会）活動
新生会の企画・運営による交流行事活動や奉仕活動です。

の時間です! PART3

今月号は、川口中学校の総合学習のようすを紹介します。

川口中学校

川口中学校では、次のようなねらいを持って「総合的な学習の時間」を大きく3つの活動に分けて取り組んでいます。

- 自ら主体的に追究したい課題を設定し、知りたいことや分からないことを自分で調べ解決していく力をつけること
- 学習のやり方や考え方を身に付け、それを実際の活動や生活に生かすことができるようにすること
- 学習を通して、将来の自分の生き方を考えることができるようになること
- 活動のまとめや発表を通して、学んだことを適切に表現する力を身に付けること



「手話ってむずかしいけど楽しいよ」

調査・追求活動

全校生徒、学年を問わず、本人の希望により4つのコースに分かれて活動します。川口中学校独自の特色ある活動となっています。10月の学習発表会の際に保護者や地域の方々へ中間発表として公開しました。

また、年度末にはそれぞれのコースごとに発表会を開いたり、まとめの冊子を作成することになっています。

【情報コース】

パソコンのインターネットを活用したり、地域に出て現地調査や聞き取り調査で情報を集め、それを学校のホームページに公開しています。

【環境コース】

魚野川や信濃川に生息する生き物や魚について調べたり、この地域のゴミ、ダイオキシンについての調査を行いました。特に、環境への影響を中心として、町内のさまざまな場所に出かけて調査してきました。虫に詳しい人を訪ねたり、築場で魚の生息できる環境の調査も行いました。

【地域コース】

川口町の色々なことについて調べる学習をしています。町の歴史や遺跡調査、地名や自然環境など、川口町に関するテーマを決め調査します。今年も調査した結果を行政に提案し、より良い将来の町づくりに貢献しようという構想を練っているところです。

【福祉コース】

一人一人がテーマを決め、活動を進めています。その中でグループを作り、福祉施設や保育園の訪問、手話の学習、海外ボランティアについての調査を行いました。調査だけでなく実際に自分でやってみる活動を多く取り入れ、さまざまな施設にも出かけています。



保育園での育児体験活動

統一地方選挙のお知らせ

今年は「第15回統一地方選挙」が行われます。

川口町では「新潟県議会議員一般選挙」と「川口町議会議員一般選挙」が次のとおり行われます。

●新潟県議会議員一般選挙

告示日 4月4日(金)
投票日 4月13日(日)

●川口町議会議員一般選挙

告示日 4月22日(火)
投票日 4月27日(日)

◎町議会議員選挙立候補予定者説明会

次のとおり川口町議会議員一般選挙立候補予定者説明会を開催します。

- 日時 3月24日(月) 午後1時30分
- 場所 役場3階 第1会議室
- 内容 立候補届、選挙運動に関することなど

※出席者は、1候補者につき3人以内としてください。

お問い合わせは、町選挙管理委員会まで

各種大会結果

平成15年北魚新春小・中学生

書道展

大賞

吉原まり恵(川中2年)

準大賞

宮 倫世(川中2年)

井浦 望美(川中3年)

優秀賞

井浦 仁美(川中1年)

渡辺 聡子(川中3年)

奨励賞

小西あさみ(川中1年)

関 博子(川中1年)

中越教育美術展

特選 水落 晴香(田小5年)

金賞 平沢絵里奈(泉小6年)

銀賞 阿部 夏美(泉小1年)

渡邊 りか(川中2年)

銅賞 平澤 愛華(泉小2年)

星野 瞳(泉小4年)

網 まどか(泉小5年)

平沢 英佳(泉小5年)

星野 智子(木小4年)

星野 幸子(木小5年)

星野 純平(木小6年)

星野 雄太(木小6年)

原田 愛里(川中3年)

新潟県ジュニア展
絵画部門 奨励賞

保科 諒(泉小4年)

新潟県書き初め大会
新潟県中学校長会賞

宮 倫世(川中2年)

特選

井浦 望美(川中3年)

準特選

井浦 仁美(川中1年)

吉原有佳理(川小6年)

宮校二記念短歌大会

透逸

古田島明美(川小6年)

佳作

小林 彩(川小6年)

吉原有佳理(川小6年)

小林 祐介(川小3年)

川口町明るい家庭づくり作文
優秀賞

星野 香那(木小1年)

内山 結衣(田小2年)

宮 寿玲(泉小3年)

星野 智子(木小4年)

関 奈々美(川小5年)

川上 里佳(川小6年)

喜多村友子(川中1年)

小見 千尋(川中2年)

高井 悠之(川中3年)

第9回川口町小学校親善ク
スカントリー大会(2/6)
すばく川口)
団体の部

男子

1位 田麦山小学校A

2位 川口小学校A

3位 泉水小学校

女子

1位 川口小学校A

2位 川口小学校B

3位 田麦山小学校A

個人の部

5年男子

1位 内藤 達哉(川口小)

2位 渡辺 寛司(泉水小)

3位 渡辺 洋平(川口小)

5年女子

1位 関 奈々美(川口小)

2位 森山 靖菜(田麦山小)

3位 水落 晴香(田麦山小)

6年男子

1位 桜井 学(田麦山小)

2位 山本 和也(川口小)

3位 佐藤 祐斗(田麦山小)

6年女子

1位 吉原有佳理(川口小)

2位 小見 美咲(田麦山小)

3位 小西友里絵(川口小)



東川口保育園 みんななかよし ゆり組



上川保育園 おはなし大好き とんぼ組

この春、町内4つの保育園の年長児37名が卒園します。1年が過ぎるこの季節になると、子どもたちの大きな成長をとても嬉しく思います。大切に育てられていた家庭から初めての集団に入り、不安と緊張でいっぱいだった入園当初。毎日の生活の中で友だちと泣いたり、

卒園おめでとう
ございます

豊かな心と健康な体を育んでいきましょう

保育園
だより

「大きくな〜れ!」



田麦山保育園 ゆかいななかま ぶどう組

笑ったり、たくさん体験をして心も休も大きくなりました。のびのびと心豊かに育ったのも、豊かな自然の中で、地域の方々に温かく見守られ応援いただいたからだと思います。期待に胸を膨らませ、入学を心待ちにしている子どもたちの新しいスタートに、家庭、保育園、地域ぐるみでエールを送りましょう。



西川口保育園 元気いっぱい ぞう組

ふるさとの味は健康のもと ⑫

山の幸・川の幸・里の幸
かわぐちのごつつお

けんさん焼き



上杉謙信が出兵に際して、にぎりめしにみそをつけ、それを剣の先に刺して焼いて食べたところの「剣先焼き」がなまって「けんさん焼き」になったとも伝えられています。

●材料 (4人分)

- ごはん……………400g
- しょうが……………小1個
- みそ……………40g
- 大根……………200g
- 長ねぎ……………40g
- かつおぶし……………少々
- 焼のり……………少々

●作り方

- ①ごはんを炊き、おにぎりを作る。
- ②みそとおろししょうがを混ぜ合わせ「しょうがみそ」を作る。
- ③おにぎりをこんがり焼き、その上に②の「しょうがみそ」を塗り、さらにみそが焦げない程度に焼く。
- ④茶碗に焼いたおにぎりを入れ、その上に大根おろし、きざんだ長ねぎ、かつおぶし、焼きのりなどの具を並べ、熱湯を並々とかける。

○お問い合わせは次の食生活改善推進委員に

- 星野 美香 (川口4) ☎89-2811
- 内山 晶子 (川口5) ☎89-2651

21世紀は私たちが主役! ⑨

空手で全国高校選抜に出場します!



小林満さんは十日町高校の2年生。高校では空手部に所属しています。十日町高校は、空手の競技で県内でも有数の強豪校であり、団体形の部では、昨秋の県大会で2位、北信越大会で優勝を飾り、3月下旬に東京で開催される全国高校選抜大会に出場することになりました。

▼空手を始めたのはいつ頃ですか?…「中学2年から父(嘉宏さん 空手5段)の影響で毎週水曜日小学校の体育館で行っている教室に参加するようになりました。中学校では野球部に所属していたのですが、高校では空手をやりたいと十日町高校に進学しました。」▼3月下旬には全国大会に出場しますね…「空手には形の部と組手の部それぞれ団体・個人があって、高校選抜には団体形の部で出場します。団体形の部は5人1組で演技する種目で、他の選手と動作があっているかどうかを競います。決勝は日本武道館が舞台となるのでがんばりたいです」▼高校での目標や将来は…「高校での目標はインターハイに出場することです。もちろん卒業しても空手はずっと続けていきたいし、父のように5段を取れば…とも思います。将来はできれば川口にいたいと思っています。」

短歌

バス停に下りて歩けば久々の冬の日差しに背は汗ばみぬ

佐藤 美智

寒風に籤買ふ人の列なしぬ
遺影の子ともにつりてはつ鏡
母となる孫と迎へしお正月
柚子の湯に温もり老の至福かな
一駅の乗り合ふ人と雪のこと

渡辺登子一
喜多村キヨ
星野 きの
関 よし
三輪 京子

- 老人クラブ俳句教室 3月4日(火) 末広荘
 - 公民館句会 4月12日(土) 生涯学習センター
- ※出句締切 午後1時

皆さんのページです。投稿をお待ちしています!
企画商工課 ☎89-3112

みんなの広場

老人クラブと小学生が冬まつりで交流

西川口第3老人クラブ

2月8日、「雪洞火ほたる祭」で町中に雪灯りや雪像が作られる中、西川口でも地域の小学生たちと一緒にまぐらや雪洞づくりをして親睦を深めようと西川口第3老人クラブと新敷・原新田地区PTA役員が冬期交流会を企画しました。



2月8日午後1時、老人クラブ会員25名と新敷、原新田地区の小学生12名が会場となる原新田地区

内の雪の集積場に集まりました。かまぐらと雪灯りの制作は、老人と小学生たちが一体となって行い、作業が進むにつれてお互いへの理解を深めることができました。子どもたちに雪国での作業や楽しみ方を伝えることができました。そして、会場内に3つのかまぐらと約百個にもなる雪灯りが完成しました。終了後は、集会所にてみんなでスカットボールや輪投げのゲームを楽しみ、更に交流を深めることができました。



元気です!かわぐちっこ ⑪

ひろむちゃん (八郎場・2歳)
小林 広夢 ちゃん (八郎場・2歳)
おとうさん 賢一さん
おかあさん 美紀子さん



「今、一番興味を持っているのは、きかんしゃトーマスと新幹線とお魚ですね」とお母さん。近所の家に鯉を見に行くことが大好きなのだそう。最近、階段にもものぼれるようになった広夢くん。これからもたくましく成長していきましょう。

俳壇

大内迪子先生選 老人クラブ俳句教室 (1月7日)

とにかくに俳句がありておらが春
明り窓掘り出す雪のうづたかし
家伝の数珠押し頂きて初調経
干支の絵の杯に酌む年酒かな
年毎に母に似て来し初鏡
大雪に鴉の声も力なく
新築の香りの中のお正月
除雪車の待機してをる大旦
山肌を襲なれ過ぎし雪時雨
がっちり男結びの冬圍
一年を無事に終わりし暦かな
病める娘の癒されまます年迎ふ

佐藤 信
鈴木 良仙
新宮 山紫
藤田 節子
宮 ヨキ
星野千恵子
丸山 トシ
上村たつお
丸山 好枝
覚張 次郎
岡村佐和子
山田 久子